

地震火災に備えを

大規模な地震が発生したときは、激しい揺れだけではなく火災にも注意が必要です。

火災を発生させないために、一人ひとりが平常時から対策を考え、備えることが大切です。

この機会に自宅の出火防止対策を見直し、取り組んでみませんか。

[問合せ] 防災課防災事業係 ☎内線418



東日本大震災では、原因が特定された火災のうち、過半数が「通電火災」でした。通電火災とは、地震等による停電のあと、電気が復旧したときに発生する火災のことです。

地震後の通電火災の主な発生原因

- ▶物が散乱した部屋で、カーテン・カーペット等の可燃物が電気ストーブ・照明器具等の電気機器に接触したまま電気が復旧し、過熱される
- ▶家具の転倒により電気コード等が損傷した状態で電気が復旧し、電気コードがショートして火花が出る

2面で、通電火災の対策を紹介します

地震火災による被害をなくすために

過去に発生した大規模地震では、その二次災害として多くの地震火災が発生しています。荒川区は、地震に関する地域危険度測定調査における総合危険度が高い地域を多く抱えており、1軒の出火から大規模な火災につながる恐れがあります。

区では、出火防止対策や迅速な初期消火体制の強化を推進するため、感震ブレーカーや家具の転倒・落下・移動防止対策器具の購入等への助成を行うとともに、区内各所への消火器の設置や永久

荒川区長 西川太一郎

水利施設の整備等、さまざまな取り組みを進めています。

今年は、多くの尊い命が奪われた東日本大震災から12年が経過し、関東大震災の発生から100年の節目を迎えます。区民の皆様におかれましては、地震火災による被害を最小限に抑えるため、日ごろから対策に取り組んでいただくとともに、有事の際は、地域と行政が一丸となった消火活動にご協力くださいますようお願い申し上げます。

東日本大震災発生の日 の弔意について

東日本大震災が発生した3月11日に、区施設等で地震発生時刻(午後2時46分)に合わせて1分間の黙とうを行い、哀悼の意を表します。

皆様のご協力をお願いいたします。

[問合せ] 総務企画課総務係 ☎内線2211